

令和3年度第4回神岡地域協議会会議録

令和4年 3月28日

神岡地域協議会

令和3年度第4回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名について	5
■案件	
①地域枠予算活用事業について	5
②彩色千輪プロジェクト（地域拠点利活用活性化事業）について	7
③地域の魅力再発見事業について	10
④その他	11
■閉会	14
■署名	14

令和3年度 第4回神岡地域協議会 会議録

■日 時： 令和4年3月28日（月） 午前10時00分

■会 場： 神岡庁舎 3階 大会議室

■出席委員： 11名

工藤 容子、 今 真弓、 今野 由美子、 齊藤 劼、
齊藤 亘、 佐々木 尚美、 佐藤 和彦、 鈴木 幸一、
高橋 保、 高橋 尚子、 中村 淑子

■欠席委員： 3名

伊藤 明美、 池田 君男、 高橋 しげ子

■出席職員： 6名

佐々木 英樹（神岡支所長）
進藤 稔剛（市民サービス課長）
佐藤 直史（農林建設課長）
渡邊 一光（神岡中央公民館長）
舛谷 恵理子（地域活性化推進室 参事）
佐藤 孝（地域活性化推進室 主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 案 件
 - ①地域枠予算活用事業について
 - ②彩色千輪プロジェクト（地域拠点利活用活性化事業）について
 - ③地域の魅力再発見事業について
 - ④その他
- 5 閉 会

(午前10時00分 開会)

○進藤市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

本日は、お忙しいところご出席いただきありがとうございます。ただ今から、令和3年度第4回地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに、齊藤会長よりごあいさつをいただきます。

○齊藤神岡地域協議会会長

皆さんおはようございます。年度末のお忙しのところとは思いますが、多数ご出席いただきありがとうございます。本日、3月28日になってしまいました。年度末ということで、今年の反省をしてみたいなと思いますが、まずは、予定した我々の活動がことごとく中止になったり、延期、また計画できなかつたりという事業がありました。地方においては、一昔前は流行は2、3年遅れてやって来るという時代もありましたけれども、今はもう、ネットとかで情報も共有できますし、関東圏、首都圏と情報を共有できる時代なんです。またここに来て、どうも秋田県、特に大仙市はコロナの感染が収束に満たないという状況であります。最近では保育園、幼稚園の子どもから感染するというケースが多く報告されていますので、今一度、皆さんマスクは習慣付いてきましたけれども、お体には十分ご留意されて、感染するようなことにならないように対策に努めていただきたいと思います。

本日に、3月28日で残すところあと3日ですけれども、先日、大仙市の職員の異動の発表もございました。佐々木支所長さんはじめ、今日ご出席の課長さん3名ともご勇退になる、または職場替えという状況が報告されております。支所長さんにとっては、本庁の方へご異動されるようですので、今後とも神岡地域協議会の方へご指導をいただければ幸いに存じますので、よろしく願いいたします。あとは皆さん、支所長の方から詳しくご報告があるとは思いますが、大変失礼なんです。このあいさつという形でしかお送りすることができない状況ですので、どうかご勘弁をいただきたいと思います。

今年度、最後の会議になります。どうかご協力よろしく申し上げます。

○市民サービス課長

ありがとうございました。

続きまして、佐々木支所長よりごあいさつを申し上げます。

○佐々木支所長（以下「支所長」と表記）

皆様おはようございます。本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。先程は会長さんから過分なお言葉を頂戴しまして、誠にありがとうございました。会長さんのお話にもありましたが、あと3日で令和3年度も終わる時期となりました。今年度の地域協議会は、今日が第4回ということになります。お集まりいただいていた開催は2回目ということでございます。昨年6月に第1回を集合開催して以降、8月に予定しておりました第2回、12月に予定しておりました第3回は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、書面開催とさせていただきます。このため、実に9か月ぶりに一堂に会しての協議会となりましたこと、お詫び申し上げますとともに、改めてご了承いただきたいと思います。

新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されたのが、一昨年、令和2年の1月15日でした。それから既に2年2か月が過ぎたこととなります。市民の方、約9割の方が2回のワクチン接種を終えるまでに進み、昨年末頃は感染拡大も収束に向かうかと思われたものではす

れども、年明けから感染力の強いオミクロン株という新たな変異ウイルスが全国で猛威を振るう事態となりました。秋田県内でも、1日の新規感染者が3月1日に299人と過去最多となりまして、ずっと高止まりの状況が続いてございます。大仙保健所管内でも、ここ連日50人ほどの新規感染者が確認されておりますことから、皆様におかれましては十分留意されて、お過ごしいただきたいと思っております。2月から3回目のワクチン接種が開始されておりますが、市民の接種率は、3月23日現在で約35%とのことではございました。さらに、新型コロナに加えまして、この冬も前年に続く大雪となりました。市では2月に豪雪対策本部を立ち上げまして、雪害や雪下ろしの注意喚起、高齢者世帯のボランティア除雪などを行ってまいりましたが、2月6日に北檜岡におきまして、除雪機操作中の死亡事故が起きております。大変痛ましいことでありまして、心からご冥福をお祈り申し上げる次第でございます。豪雪となったこの冬ですが、やはり3月に入りますと雪解けも進みまして、確実に春の訪れが感じられるようになりました。

お集まりいただいたの開催が昨年6月15日以来と久しぶりのことですので、この場をお借りしまして、神岡地域内におけます昨年6月以降の主な出来事について報告させていただきます。資料等ございませんが、少し長くなりますが、この9か月を振り返ってみたいと思っておりますので、お聞きいただければと思っております。

6月26日、27日、道の駅かみおかの誕生祭を開催してございます。おかげさまで、開業25周年を迎えました。

7月4日、地域協議会の皆様による花苗植栽を神岡中央公園の花壇で行いました。皆様にはお疲れ様でした。ありがとうございます。

7月13日には、神岡地域交通安全対策協議会によります交通安全テント村を道の駅の方で行っております。神岡支所や神岡地区の交通安全会で作る団体が、道の駅に立ち寄ったドライバーの方に地元産野菜の袋詰めなどを手渡して、安全運転を呼びかけてございます。

7月15日には、平和中学校で避難所の開設訓練を行っております。避難所の開設・運営に中学生が協力するという想定で実施してございまして、近くの住民が避難者として参加ということにございました。

去年は、7月23日から8月8日まで、東京オリンピックが開催されてございます。第1回の協議会の時にもお話しましたが、この時の聖火ランナーに会長の息子さんが参加されてございます。オリンピックが終わった後、8月24日から9月5日まで、東京パラリンピックが開催されました。駅通の佐藤真弓さんという方でしたけれども、県のバドミントン協会の競技審判委員長を務められている方が、パラリンピックのバドミントン競技で18試合、審判を務められたそうです。佐藤さんについては、去年の12月の広報に顔写真などが掲載されてございます。

8月25日には、宇留井谷地の黒川久一さんが、元神岡町消防団第5分団長をされたかたがたそうので、満88歳で高齢者叙勲を受けられてございます。

9月14日、15日、2年連続で花火大会が中止にはなりませんが、八幡神社祭典奉納花火ということで開催されました。首都圏ふるさと会であります東京嶽雄会という団体さんがありますけれども、そちらの方からも花火を奉納していただいております。

9月26日には、市議会議員選挙がございまして、神岡地域からも4年ぶりの市議会議員の誕生、青柳さんが当選してございます。

10月に入りまして、10月14日に工藤ミチさんという方に百歳長寿祝金を贈呈してございます。この時は、西山副市長と私がお自宅にお伺いしまして、祝金を贈呈させていただきました。

10月21日から23日には、かみおか地域文化祭を開催してございます。ただ、新型コロナを考慮しまして今回も縮小版ということで、作品展示を中心に開催してございます。

10月22日には、道の駅の再整備に伴う彩色千輪プロジェクトの市長プレゼンを行いましたけれども、これにつきましては、案件の中で再度説明させていただきます。

10月28日には、大仙市金婚式が行われてございます。大仙市全体で49組、そのうち神岡からは2組ということでございました。当日は神岡の2組の方も出席してございます。

10月29日には、2022年、今年のカレンダー用の写真を、地域協議会委員の皆様には神岡庁舎に集まってお選びいただき選んでいただいております。

10月31日には、衆議院議員選挙の投開票がございました。

11月に入りますと、11月10日から12日には、平成中2年生2名が神岡支所の方で職場体験学習を行ってございます。

11月19日には、この年の除雪の安全祈願祭を行いました。

11月30日に、皆様から選んでいただいた写真を基に作りました地域カレンダーを、神岡地域の毎戸に配布させていただいております。

12月に入りますと、大仙雪まる隊の総会・出勤式が大曲の方でございまして、これに私が出席してございます。

12月10日には、東京嶽雄会会員へ地域カレンダーを送らせていただきました。嶽雄会の会員は148名いらっしゃいます。この方々全員に送らせていただいております。

12月21日には、今年で第48回となる神岡地区自治会連合会の懇談会を福祉センターの方で開催いたしました。各町内会・自治会の役員、市長、青柳市議などが出席して行っております。

1月に入りますと、1月5日、消防の出初め式が行われまして、神岡支団からも参加してございます。

1月17日には、大仙雪まる隊による高齢者宅の除雪活動、この時は21世帯のお宅を除雪してございます。

2月4日に、2回目の大仙雪まる隊による高齢者宅の除雪活動、この時は23世帯の実施でございました。

2月10日に、市役所神岡支所職員が小・中学校の校門付近や通学路の除雪を行ってございます。

翌日、2月11日でしたが、JR神宮寺駅構内の線路枕木から煙発生ということで、線路作業員が消火し大事には至っていませんが、神岡地域では令和2年11月以来の火災扱いとなったそうでございます。

3月3日の朝でしたけれども、平和中学校の学校評議員を務めます齊藤会長から提供いただきました花火が打ち上がったそうです。これは和火屋さんが打ち上げたものでございますけれども、テーマが三つあったそうで、一つは平和中の第70回卒業式を祝って、二つ目が3月3日ですのでひな祭りを祝って、三つめが世界平和を祈念して、この三つをテーマに6発の3セットということでしたけれども、花火が上がったそうでございます。残念ながら、私は見ていなかったんですけれども、そういうお話をいただきました。今、2月にロシア軍によるウクライナ侵攻も始まりまして、本当に平和というものの尊さをより感じているこの頃でございます。

3月10日には、この協議会委員の工藤容子さんが、民生児童委員永年勤続ということで、10年勤続により、全国民生委員児童委員連合会会長表彰を受けられたので、私の方から賞状を伝達させていただきました。

3月11日は東日本大震災から11年ということで、災害発生時刻に神岡支所の方でも黙とうしてございます。

3月12日は、平和中学校の卒業式、卒業生は42名でございます。新年度の中学校入学式は4月6日でございます。

3月15日が神岡小学校の卒業式、38名が卒業してございます。ただ、全員が平和中学校に入学するわけではなくて、一部の児童は大曲中学校や秋田南高等部へ進学する子どもさんもうらっしゃるそうです。新年度の小学校の入学式が4月8日でございます。

3月16日深夜でしたけれども、福島県沖を震源とする地震がございました。大仙市は最大震度5弱でしたが、神宮寺は震度4ということでした。太平洋側では東北新幹線が脱線するなどの被害がございましたが、大仙市内では大きな被害報告はございませんでした。

3月17日には、すくすくだけっこ園卒園式がございました。卒園児が32名です。ただ、運営法人大空大仙の統一方針によりまして、来賓へのご案内はございませんでした。園児と保護者だけの卒園式ということだそうです。

以上、神岡地域の主な状況についての報告でございました。

最後ですけれども、先程、会長からお話がありましたように、先週、市職員の定期人事異動の発表がございました。新聞紙上にも載りましたので、ご覧になった方もいらっしゃるかと思います。私も含め、本日出席の職員も異動となりますので、会議の最後の方で異動の内容を改めて報告させていただきたいと思っております。私の場合は1年での異動となってしまいましたけれども、この1年、皆様にはお世話になりました。ありがとうございます。異動となりましても、引き続きのご指導をいただけますようお願い申し上げます。

話が長くなりましたが、本日は、どうぞよろしく願いいたします。

○市民サービス課長

ありがとうございます。この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、齊藤会長をお願いいたします。

○会長

それでは会議を始めます。

本日、伊藤明美委員、池田君男委員、高橋しげ子委員より欠席の届が出されておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

次に会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、9番の佐藤和彦委員と10番の鈴木幸一委員をお願いいたします。

それでは、本日の案件に入ります。はじめに、地域枠予算活用事業について、事務局からの説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【資料No. 1-1～1-4 基づき説明】

行政主導型

- ・地域環境整備支援事業

事業の目的：神岡地域内の草刈りを行い、利用環境の向上や、地域の名所・憩いの場の整備を図る。

事業費：496,757円

・神岡中央公園花壇整備事業

事業の目的：神岡地域文化祭や地域の魅力再発見事業で、公園及び周辺施設を活用する予定であるため、花の植栽を行い、利用者や付近を通行する方々の目を楽しませるとともに、環境美化意識の向上を図る。

事業費：160,000円

・神岡地域オリジナルカレンダー作成事業

事業の目的：地域の四季折々の風景等の写真を使用した卓上カレンダーを作成し、地域住民や施設等へ配布することで、地域に対する愛着や誇りを持つ心を育む。また、写真部分を葉書として使用していただくことで、神岡地域の美しい風景等を各地へ届け、地域のPRに繋げる。

事業費：491,250円

市民協働型

・神岡地域文化祭

事業の目的：神岡地域の文化振興と市民の芸術文化活動に対する意識高揚を図るため、新型コロナウイルス感染拡大対策を行う生活様式の中でも、市民に親しまれ、参加者が互いに励まし合い称え合える「かみおか地域文化祭」を開催する。

申請者：かみおか地域文化祭

事業費：193,000円

市民主導型

・ふるさとPR事業

事業の目的：地元神岡から様々な形で東京嶽雄会を応援することによって、会員の減少に歯止めをかけ、活動の活発化に寄与すること、東京嶽雄会との交流を深めることを目的とする。

申請者：東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会

事業費：104,506円

・「神岡和太鼓」伝統芸能維持事業

事業の目的：統合前の北神小学校で地域の皆さんから愛されていた「北神太鼓」の流れを受け継いだ、神岡小学校和太鼓クラブの子どもたちが、意欲を持って練習でき、学校行事や地域のイベント等で自信にあふれた演奏できるよう支援することを目的とする。

申請者：神岡和太鼓愛好会

事業費：300,000円

○会長

ありがとうございました。ただ今の地域枠予算活用事業、資料No. 1-1から1-4について、委員の皆さんからご意見を頂戴したいと思います。

○齊藤 勲 委員

資料N o. 1－3の神岡和太鼓愛好会とありますけれども、これは小学校の子ども達がクラブでやっていますけれども、保護者がこの会をつくったということですか。愛好会は一般の方も参加できるという会でしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

規約ではそのようになっているようです。

○会長

ほかにございませんか。

なかなか、2回も皆さんから書面でご意見をいただいて、実感がわかないかと思えますけども、今、突然ご意見ありますかというのも大変恐縮なんです。よろしいですか。もしこの後、何か気付くことがありましたら、この後でも結構ですのでご意見を伺えればと思います。

それでは、地域予算活用事業については以上でございます。

続きまして、彩色千輪プロジェクト、地域拠点利活用活性化事業について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【資料N o. 2－1及び2－1－2に基づき説明】

○会長

ありがとうございました。ただ今の彩色千輪プロジェクトについて、皆様よりご質問、ご意見を頂戴したいと思います。

私から伺ってよろしいですか。令和6年度までに実現に向けてと捉えればよろしいのでしょうか。それとも、令和6年度までに何らかの構想を具体化するという形なのでしょうか。何かの形が令和6年度までにできるというようなことで、これから計画なり作ることなのか、そのあたりはどうですか。

○支所長

今の会長さんのお話ですが、この彩色千輪プロジェクトというのは、原則、本庁の方で考えているのはソフト事業です。3年間で、例えば、令和4年度に構想を立てて5年度、6年度にやってくださいというのが原則なんですけども、道の駅かみおかのようにハード整備を伴うものは、必ずしもこの3年に拘ることはなくて、ただ、ハード整備を伴うものは6年度までにどうしたいというのは各地域で考えてくださいということです。例えば、構想を来年度と再来年度の2カ年で立ててその後で実施に向けていくのか、来年度で計画も全部作って翌年度からもう具体的に動いていくのかという、それは各地域で考えてくださいということでした。ですから、皆さんとお話しながら基本的な計画を作るのをどれだけの時間をかけてやるのかも、今のところまだはっきりしていないので、できれば4年度、5年度の2カ年くらいをかけて基本計画を作っていければなど、そしてその翌年度からハードとかソフトをとというふうにしたいなどは思っています。

国の方では、湯沢河川国道事務所が所管する道の駅は4カ所あるんですけれども、国道13号沿いですね。道の駅協和は秋田河川国道事務所の所管なんです。道の駅なかせんは、3桁国道、105号ですので県が管理する道の駅で、13号沿いにある道の駅かみおかが湯沢河川

国道事務所が管理するところです。十文字も美郷もリニューアルしたものですから、そして、おがちが高速道路の関係で、今、湯沢市の方で少しリニューアルしたいと考えているようで、最後にかみおかが残ってしまうし、一番古い道の駅ですので、どうかしたいという思いは湯沢河川国道事務所の方で前々から思っているようです。ですので、構想段階から国の方も入れてやらせてくださいというお話はしていました。

ただ、会長さんがご心配しているように、期限というのはまだ何とも言えなくて、国の方では、資料にもありますけれども道の駅おがちが7年度までかかるそうですので、実際に工事にかかるとなると8年度以降になってしまうということなので、それまでに必要な計画なりを固めればいいのかなどは思っています。こういった感じでよろしいでしょうか。

○会長

はい。ありがとうございます。

○齊藤勲委員

あの、あまりにも漠然とした計画というか、例えば老朽化したから建物を建替えるとか、建替えとかある程度具体的な計画があれば、建物の建替えだったらどういう部分を広げてほしいとか、どういう物を入れてほしいとか色々出ると思うんですけども。それから、例えば敷地ももっと広く、子どもの遊具とか公園のようなものまで付加してもよいとか、そういうある程度具体的なものがないと、協議会で漠然と地域活性化とか言われてもアイデアがなかなか出にくいと思いますけれども。再整備とは言っても、どの程度の予算というのかな、お金が掛かってもいいのかもある程度わからないと。これから煮詰まっていくなんでしょうけども、そういう情報をご提供いただければ、地域協議会の会議でも色々な提案ができるのではないかと思いますのでよろしく願いいたします。

○支所長

そうですね。確かに、ここまで整備するとこれだけの費用がかかるというのは専門家でないと思えないので、言い方は変ですけども、ほかの道の駅、後からできた道の駅のようにすることは簡単で、建物を広くして駐車場も広くしてというのはお金を掛ければできるんですけども、ただほかの道の駅と同じものを作ってもどうなのかなという、結局、建物を整備してもそれだけでは何も特色のない道の駅になってしまうのかなという気持ちはありますけれども。

○齊藤勲委員

道の駅というものの用途は、要するに途中で休憩するという大前提のものですよね。

○支所長

それが、神岡の道の駅を作った頃はそうだったんですけども、だんだんに道の駅が、休憩ではなくて目的地になっているんですよ。そして、そこを拠点として地域活性化に結び付けるというふうに、だんだんに道の駅の考え方が大きくなっています。

○齊藤勲委員

よく、高速のサービスエリアなんかも高速を走る人だけでなく、地域の人もそこに行って楽しめるという、そういう複合的な施設にしていきたいという意味でしょうか。

○支所長

そうです。国の方ではそのようなことも考えています。なので、今お話しがあったように子どもの遊び場とか拠点というふうな、最初の頃と全然違うような、すぐくスケールアップはしてきましたけれども。ただ、神岡はあのおり敷地も限られてきますし、敷地の拡張は今の段階では現実問題ちょっと難しいのかなと感じています。国道13号の4車線化の関係で、国の方で用地を用意していることもあって、そこまで踏み込んで拡張というのも現実的ではないので、どういうふうに整備するのかというのは、事務局としてはある程度皆さんの方に案はお出ししますけれども、ハードもですし、どのように活性化していくのかということ。

○齊藤勲委員

中途半端なものを作ってもどうしようもないので。

○支所長

ただ、先程言ったようにお金の面もありますし、ほかの後からできた道の駅のように大きいものをつくるというわけにもいかないの、その後のランニングコストの面もありますし。そこは専門家の意見を聞きながら、ほかの道の駅の事例も参考にしながら、話し合いを進めていければと思います。ちょっと難しい問題ではあると思いますが。

道の駅なかせんは先行して再整備を考えているんですけども、ハードの面に関しては、あの建物は黒川紀章建築設計事務所の建物だそうで、市が勝手に手を掛けられないんだそうです。あそこは駐車場もちょっと入りづらいので、駐車場の機能改善ということで、国道と駐車場の間に木がありますけれども、あれが最初の頃より大きくなってしまって、駐車場に車があるかどうか見えづらいということで、来年度はその木を伐採するというようなことを考えているようです。それをやってみて、入込がどれくらいかということを試してみるということでした。あとは、あまりハードには道の駅なかせんの場合は手を掛けられないようですから、ソフト面の方を充実したいということは言っていました。

ただ、神岡の場合は25年も経っていますので、お金を掛ける気になれば建物を全面リニューアルということも可能です。トイレと休憩所は国が建てた建物ですけども、市が、物産館が狭いものですから、それを広くするのに合わせてトイレ、休憩所も大きくしたいというのであれば、あの建物を壊しても良いということでした。確かに物産館は今で狭いので、あれぐらいが良いという人も中にはいるかもしれないですけども、ただ、さっきも言いましたが建物だけが立派でも売れる物がないとか、売った後にどのように補充していくかが問題になると思います。

○齊藤勲委員

確かに、十文字なんかは果物とかの販売の量が違いますから。

○支所長

あとは、このあたりは漬物とかが有名ですけども、保健所の方で今度、漬物の方が許可制になります。自宅で勝手に作って勝手に補充なんていうことができないので、そこも少しネットになってくるのかと思います。

○齊藤勲委員

最初に道の駅ができた頃は、世の中の経済も成長していて、国道を走る車の量も途切れるこ

とがないくらいだったんだけど、今は人口減少もあるのかわからないけれども、国道を通る車の量があの頃の半分以下になっていると思うので、当初掲げた走る途中の休憩所という意味合いはだいぶ薄れてしまったということは事実だと思うので。だから集客は、運転以外の集客も必要だということは十分承知だとは思いますが、そうなるとやっぱり、我々の考えの及ばない、要するにコンサルタントで地域の特性とか、内部では見えないけども外から見ればここが優れているとかというのが見えるかもしれないので、そういうものでなければなかなか集客というのは難しいのではないのかなと思っています。

○支所長

そのあたりはリサーチをよくして、皆さんにもデータ提供しながらお話をすすめていくという感じになるのかなと思っています。

○会長

この彩色千輪プロジェクトについては、この後も皆さんにアイデアのご協力をいただくということで、色々とアイデアをためておいていただければと思います。時が来れば皆さんのアイデアを反映させることになると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。それに当たって、齊藤委員もおっしゃったように、どこまでできるのかというような資料を、私のこの道の駅かみおかができた時の記憶では、直売所も同じ棟には入れなかったという縛りがあって、わざわざ外に別棟で直売所があると、そういうようなことを記憶していますので。ところが、その後でできた道の駅なんかは同じ棟に直売所が入って、食堂が入ってというような、そういう建物がどんどんできていて変わってきていると思いますので、そこらへんの情報提供もお願ひできれば、国交省管轄になるかもしれませんがよろしくお願ひしたいと思います。

それでは次に移りたいと思います。地域の魅力再発見事業について、事務局から説明をお願ひいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【資料No. 2-2に基づき説明】

○会長

ありがとうございます。ただ今の地域の魅力再発見事業についての説明に対して、ご質問はございませんか。

これはプチ万博のようなイメージですか。

○事務局（地域活性化推進室）

そのようなイメージを持っていただければと思います。

○会長

これは市で推進しているスポーツ観光とはタイアップできないですか。スポーツを通して交流を広めるといふ、名称は忘れてしまったんですけども。今、旧仙北町のふれ文のあたりを全天候型のグラウンドをつくって体育館を活用して宿泊も交えながら、地域との交流を図るといふ事業があったと思いますが。そういったものともタイアップできれば面白いのかなという感じはしますが。

○事務局（地域活性化推進室）

すみません、勉強不足です。資料などを集めて、関係課の方と相談してみたいと思います。

○会長

何かご質問、ご意見ございませんか。

○齊藤勲委員

これもそうですけども、行政としては安全第一というか、このコロナに関してですけども、それは行政としての責任を考えれば当然、これをやれば駄目だ、あれをやっては駄目だという、安全を考えてのことなんでしょうけども、ワクチンも3回接種した人も今年の6、7月までには相当増えるでしょうし、感染直後に飲む薬なんかも普及して対策できてくるんでしょうけども、コロナは色々変化しながら、完全に以前のような時代にはなかなか戻りづらいのかなと思っています。だから、感染対策を十分に考えることに力を注いだようなやり方をして、この本当に狭い地域の協議というのは、書面ではなかなか行き届かない部分があるので、やはり対面して会話の中で生まれてこないといけないと私は思っています。私事で大変恐縮ですけども、地域公共交通も画面を見ながらの会議を今年は3回行っています。これは県全体の地域公共交通のことなので、我々は利用者代表ということで地域から一人ずつということで、あまり発言機会はないのでリモートワークでできるんですけども、やはりこの狭い地域の協議会というのは、どうしても対面会議が必要だと思いますので、必ずしもここでやらなくてもいいので、この環境を良くして換気扇を追加してでもいいので、感染対策を今まで以上に整えて対面会議を行えるようにしていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

わかりました。ありがとうございます。

○会長

ほかにごございませんか。

（質問・意見なし）

それでは、地域の魅力再発見事業については以上といたします。

その他に入ります。事務局から何かありますか。

○支所長

私から、まず先程の齊藤委員のお話ですけども、結局、withコロナと言いますか、強制しながら経済を回していくということも大事かと思しますので、齊藤委員のお話は大変良かったなと思います。よろしくお願いします。

あとですね、地域枠予算の話ですけども、来年度、神岡小学校10周年記念事業ということで、立派な冊子ではないようなんですけども記念のリーフレットを作りたいということで、地域枠予算を活用させていただきたいという話を校長先生から伺っていますのでお伝えしておきます。

あと、最初のお話にもありました定期人事異動ですけども、私も含めてこちら4人全員異動ですので、改めて報告させていただきます。進藤市民サービス課長ですけども、今回、一身上

の都合ということで、まだまだ若いんですけども退職ということになりました。一言お願いします。

○進藤市民サービス課長

そうすれば一言。神岡町役場に入ってから29年6カ月、皆様方には2年間大変お世話になりました。これからも、どこに行くというわけではないので何かとお世話になるかと思いますので、よろしく願いいたします。

○支所長

隣の佐藤農林建設課長は、この庁舎内ですけれども選挙管理委員会の事務局長に異動となります。

○佐藤農林建設課長

2年間大変お世話になりました。今この場をお借りして、先程から道の駅の話が出ていますが、奥に農産物加工処理場というものがあるのはご存知かと思えますけども、この4月から民間企業の方で借りまして食品加工をするということで、ノリット・ジャポンというところですけども、そこでフォーを、わかる方もいらっしゃるかと思えますが、フォーというのはベトナムの米粉を使った麺ですけども、それを作って販売したいということです。会社の方には地元雇用と、原材料が米ですので地元のものを使ってくれれば良いかなということでお話をしています。

○支所長

渡邊中央公民館長ですけれども、神岡支所の農林建設課長に異動となります。

○渡邊中央公民館長

2年間は中央公民館長としてこちらの会議にお世話になりました。4月からはまた改めて、立場は農林建設課という部署の方が変わりまして、またこちらの方にお世話になります。2年間ありがとうございました。4月からまたお世話になりますので、どうかよろしく願いいたします。

○支所長

それから、事務局の地域活性化推進室の職員は今回異動はありませんので、引き続き事務局を担当しますのでどうぞよろしく願いいたします。

私は建設部の方に異動となりますので、よろしく願いいたします。

○会長

ありがとうございました。委員の皆さんには、お別れの拍手ということで、お手を拝借できますか。お世話になったお礼の拍手ということでさせていただきます。大変お世話になりました。ありがとうございました。

(拍手)

本当にお世話になりました。この後も神岡地域をよろしく願います。

その他、舛谷さんの方から何かありませんか。

○事務局（地域活性化推進室）

すみません。花壇のことなんですけれども、中央公園の方は今年度のようにまた皆さんのお力をお借りしたくて、音楽交流館の方の花壇ですが、まだ、県から借りている期間が2、3年くらいありまして、皆様の意見書の中にも、音楽交流館の花壇の方も引き続きという意見もありましたので、ただ、中央公園も音楽交流館も全部、地域協議会の自主事業にして皆さんでやるのは大変だと思います。それで、音楽交流館の方を、今、我々は2カ所借りているんですけれども、それ以外のところを草刈りしている方々、北檜岡の方なんですけれどもいらっしゃるので、そちらの方に私の方からお声掛けしてみたいなと思っています。草刈りをしているところは今まで通りで、2カ所の花壇の花植えとその他のお世話をお願いしたく打診してみますが、もし断られたら、会長さんと北檜岡の委員の皆様と電話で相談させていただきたいと思いがよろしいでしょうか。

（異議なし）

では、そういうことでよろしく願いいたします。

○会長

ほかに委員の方々からございますか。

○佐々木尚美委員

すみません、議題戻って申し訳ないですけれども、（彩色千輪プロジェクトの今後想定される業務について）黄色の網掛けのところを検討していただきたいというお話が合ったじゃないですか。これを見ると、先進事例とかそういったネタ探ししてくださいという意味合いの網掛けにも取れてしまうんですけど、どうなんですかね。逆に、こういうのがありましたという、道の駅に限らずにあたってもらって配付資料で回してもらって方が良いのではないかなと思ひまして、今になってしまって申し訳ないんですけれども、お願いしたいと思うのですが。そもそも、こちらの方でリサーチして素材を出して進めるべき話であれば、そのように対応しますけれども。

○事務局（地域活性化推進室）

すみません。そういうふうに見えてしまうかもしれないですけれども、皆さんにあちこち回ってきてほしいというわけではなくて、まず、事務局の方で色々情報収集をもちろんしますし、コロナのこともあるので確実には言えないですが、可能であれば近場の、県内だとか近くの県外の道の駅なんかも実際に見に行けたらすごく良いのかなとは思っているところですが、いずれ、資料の方は事務局の方で準備します。もちろん、ネットで検索できる方であれば見て頂ければ大変助かるんですが、ちゃんとこちらから情報提供をしますので、どうかよろしくをお願いします。

○佐々木尚美委員

ありがとうございます。

○会長

ほかに何か、委員の皆さんからありますか。

(意見なし)

なければ、今日の協議は全て終了になります。よろしいですか。

それでは、これもちまして会議を閉じさせていただきます。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

(午前11時27分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
